

12月議会が始まります

10月31日投開票の総選挙は、自公政権の継続を許す結果となり岸田政権による改憲が推し進められようとしています。一方で市民と野党の共闘は支配勢力を追い詰め確かな成果があり今後の展望も示しました。

松戸市議会では、コロナの新規感染者は激減しているにもかかわらず、12月議会の質問時間は、60分に戻さず25分のままです。

日本共産党市議団は、市民の意見を聞かないまま、市役所移転建て替えや東松戸病院廃止を推し進めようとしている松戸市政に、市民の声を届け市民の要求実現をめざし全力で頑張ります。ぜひ傍聴にお越しください。

(なお質問時間の目安は、午前で4人程度です。)

◆山口正子議員 12月3日(金) 6番目 (午後2番目の予定)

一、新型コロナウイルス感染症対策について

(1) ワクチン接種3回目の取り組みについて

(2) PCR検査の拡充について

(3) 原則自宅療養をなくすための取り組みについて

二、保育施策について

2021年度の保育所整備状況等によって、2022年4月の待機児童の解消をどのように考えているか。

三、通学路の安全対策について

八ヶ崎第二小学校の通学路について

◆うつの史行議員 12月6日(月) 3番目 (午前)

一、放課後児童クラブのあり方について

こどもの健全育成の観点から、夜間預かりの妥当性について問う。

二、ジェンダー平等に向けた性差医療充実の観点から、女性心療内科の開設について

女性特別外来など性差医療に取り組んでいる市立病院事業として、女性心療内科を開設する考えはないか。

三、東松戸病院・梨香苑の存続について

(1) 市民説明会について

(2) 公的医療に対する自治体の果たすべき責任について

四、次期総合計画について

計画策定に対する市の姿勢と、計画実現に向けた市の本気度を問う。

◆平田きよみ議員 12月3日(金) 9番目 (午後5番目)

一、児童・生徒数の学校間格差と学校選択制について

(1) 小中学校の児童・生徒数や学級数の格差の現状について

(2) 学校選択制の影響について

(3) 学区の見直し・学校選択制の廃止について

二、ICT教育について

(1) デジタル教材の活用と教員の裁量・専門性について

(2) 児童・生徒にとってのICT教育推進の問題点や課題について

三、高齢者への支援について

(1) 介護予防把握事業アンケート調査結果について

(2) 高齢者の住宅確保や経済困窮への対策について

四、高年齢者への支援について

(1) 介護予防把握事業アンケート調査結果について

(2) 高齢者の住宅確保や経済困窮への対策について

五、市庁舎について
災害拠点となる市庁舎には耐震性が求められるが、市役所本館・新館はIs値が0.3、特に市役所新館は第三次診断で0.3未満が7階分もあり倒壊の危険が高い状態である。早急に耐震化を図るべきだと思いが市の考えは。



●各常任委員会の開催並びに最終本会議の日程は以下の通りです。

- 総務財務 8日10時～
- 健康福祉 9日10時～
- 教育環境 10日10時～
- 建設経済 13日10時～
- 本会議最終日 15日(水) 10時～